

南アルプス：聖岳

◆日程 2023年3月19日(日)～20日(月)

◆メンバー L：OT、TY

半年前に光岳-聖岳を周回する縦走に参加したが、台風のため光岳までで下山となった。光岳から聖岳を望み、再挑戦を誓った。聖岳は日本最南の3000m峰として知られるが、太平洋に近い温暖な気候のため、事実上の残雪期となる。そんな中、移動日である3/18に南岸低気圧が通過、上の方ではいい具合の積雪となり、行動日である二日間は晴天。特に3/20は雪が落ちていて絶好の登頂日和となった。

3月19日(土) 天候：霧のち晴れ

前夜横浜発、6時間かけて芝沢ゲート着。TYさんと二人だけなので後部座席を倒して荷室で足を延ばして仮眠。

3/19朝5時起床、駐車場には数台しか止まっておらず、半数は釣り人のようだ。満車だった半年前とは打って変わった。6時出発、ひたすら林道歩き。寒くない。易老渡の先は崩落地が多く

気が抜けない。聖光小屋とキャンプ場は営業休止中だが立派な施設。ここで一泊するのも良さそうだ。西沢渡では新旧のゴンドラとハシゴ状の橋の何れかで渡渉する。今回は話のタネに新しいゴンドラを使ってみる。二人でロープを引きながら動かすが、ギア方式になっており、ゆっくりしか進まない。

取付きからは我慢の急登が続く。霧でじっとり湿った中、汗を垂らしながら登る。やがて緩斜面になり、1800mを過ぎたあたりから雪が出てくる。凍結して滑り易くなってきたため、アイゼン装着。快調に進む。2000m以降は次第に雪が深くなってくるが、ラッセルをするほどではない。2315mの三角点付近の斜面が緩やかなため、ここで幕営。

実はもう少し進めば聖平小屋の冬期避難小屋がある。しかし、2400mまで上がってから稜線を150mも下りなければならない。この往復を節約するために、手前での幕営を選択したのだ。夜までひたすら雪を溶かしてお湯を作りながら、のんびりお茶を飲みながら過ごした。夕飯はOT担当でアルファ米に乾燥食材を加えたトマトチーズピラフと海藻とチキンのサラダ。

OT 担当でアルファ米に乾燥食材を加えたトマトチーズピラフと海藻とチキンのサラダ。

しかし、2400mまで上がってから稜線を150mも下りなければならない。この往復を節約するために、手前での幕営を選択したのだ。夜までひたすら雪を溶かしてお湯を作りながら、のんびりお茶を飲みながら過ごした。夕飯はOT担当でアルファ米に乾燥食材を加えたトマトチーズピラフと海藻とチキンのサラダ。

(記：OT)

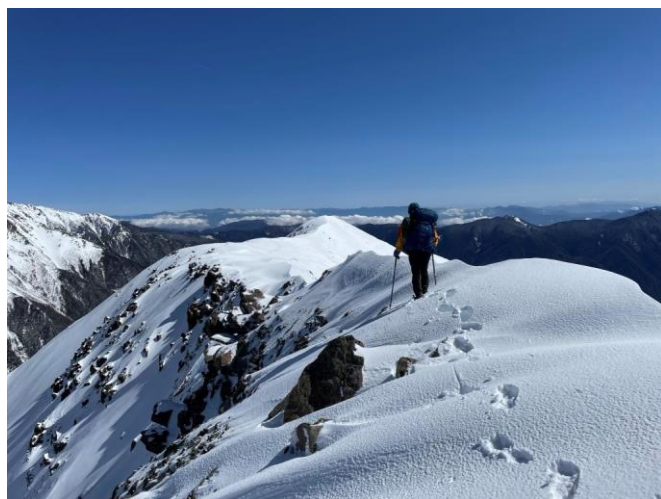
CT：芝沢ゲート6:00 - 易老渡7:00 - 西沢渡9:00 - 2315m三角点(幕営)14:00



3月20日(月) 天候：晴れ

4時起床，TYさん担当の鶏雑炊で体を温める。外は寒くない。OTの腹具合がなかなか整わず，出発が6時にズレ込んでしまったが，以後は快適に行動できた。

稜線との分岐点（薊畑）を経て小聖岳まで快調に進む。ここは最高点である前聖までの中間点で，前聖のゴツゴツした凛々しい姿が望める。ナイフリッジを経て凍結した雪の急斜面を登る。すると，トレースを付けてくれた2名が下山してくる。思ったよりも差がつかなかったようだ。程なく山頂。風もなく快晴のなか，360度の絶景を堪能した。この先に今日目指す奥聖岳が見える。ノートレースだ。TYさんと交代しながら所々ナイフリッジがある稜線を進む。なだらかな山頂からは赤石岳が奥聖岳からよりも更に大きく見える。しかし，聖岳から赤石岳へ縦走するには大きく西側に迂回しなければならない。南側には上河内岳の二重山稜がくっきりと白く見えて美しい。「いつか縦走したいね」とTYさん。



下山予定時刻は余裕をみて19時に設定しているが，出発時刻が遅れたのでのんびりしてられない。そそくさと幕営地に戻り，撤収。遅くとも明るいうちに林道の落石地帯を抜きたい。1200mを2時間で下り，西沢渡。最短で通過できるハシゴ橋で渡渉。駐車場着は予定時刻ギリギリとなった。このリミットは実は温泉に入れる時間の限界でもある。諏訪湖SA内に併設された温泉は22時まで。駐車場から諏訪湖SAまでは2時間半もかかるのだ。何とか温泉に間に合い，食事と仮眠をとる。このSA一つで完結だ。深夜0

時に運転再開，3時過ぎに帰宅。南アルプス南部はアプローチが遠いが，お陰で人が少なく，色々な要素が詰まった山行を満喫できた。避難小屋で二泊すれば体力に自信がない人でも楽しめる。 (記：OT)

CT:幕営地 6:00 - 小聖岳 7:50 - 前聖岳 9:30/9:55 - 奥聖岳 10:25 - 前聖岳 11:00-
幕営地 13:15/14:00-西沢渡 16:00-芝沢ゲート 18:50

